

東日本大震災からの復興へ



—— 被災企業のゼロからのスタート ——

中小機構では、東日本大震災により被害を受けた中小企業等の早期の事業活動の再開のため、自治体と協力して仮設店舗、仮設工場等の施設を整備しています。

南相馬市信田沢地区仮設事務所・工場

所在地：福島県南相馬市原町区信田沢字信田沢328番3

入居者：津波及び原発被害を受けた小高、原町地区の被災事業者等が入居29区画。
電気工事業、建築工事業、管工事業、精密機械製品製造業等



ホクエイ企画・松本 静江様

ホクエイ企画 (縫製業)

「やはりミシンを踏んでいると落ち着きます」

ミシンと場所さえあれば必ず仕事ができるという強い思いがあり、小高地区が原発のために立ち入りができなくなる前に、とにかく家財道具はさておき、商売道具のミシンを持ち出しました。今考えると本当におかしいのですが、何よりも自分にとってはミシンでした。従業員が戻ってくれたので、今が踏ん張り時と思って仕事をこなしています。仕事もスムーズにいただいているので、頑張らなくちゃという気持ちになっています。小高区にいずれ戻れる日を信じて、戻ったときにいい仕事ができるようにと思ってやっています。やはりミシンを踏んでいると落ち着きますね。

南相馬市小高建設業組合・(株)玉川建設 (建設業)

(株)玉川建設・玉川 光信 様

「復旧に全力を尽くしていきたい」

小高建設業組合に所属する組合員の事務所も警戒区域内にあり、風評被害など業務を行っていく上で大きな支障となっていました。南相馬市と中小機構によるこの仮設事務所を仲間10社に貸していただき大変感謝しております。

小高建設業組合は、3月の震災以降、瓦礫の撤去、行方不明者の捜索にたずさわりました。その後、屋根の応急作業、道路の補修、畜産の埋設作業など、現場ではノンストップで作業を行い、10社は休業、廃業することなくがんばって業務を続けています。この場所を基点に福島県、特に南相馬の復旧に全力を尽くしていきたいと考えています。自分ひとりでは生きていけないです。お互いが助け合い、これからの復興をめざしていきたい。



中小機構ホームページに個別企業への詳細な取材内容を掲載しております。
<http://www.smrj.go.jp/>

(取材：平成 23年12月15日)